

フレイル予防の取り組み 早期の対策が効果的 市民に広く啓発を

問 高齢者の健康長寿のためのフレイル(加齢により心身が老い衰えた状態)予防の取り組みについて、市の考えを聞く。

答 本市では、地域総合支援センターで体操を中心とした高齢者の運動機能向上を行っているほか、保健所の管



目指せ 健康長寿

理栄養士による出前講座などにおいて栄養状態や口腔・運動機能の向上等、フレイル予防の基本的な知識の普及や実践指導を実施している。さらには、医師会や歯科医師会でも講演会や研修を開催するなど関係機関と連携し、積極的に市民への意識啓発を行っている。また、フレイルは早期の対策により改善が見込

まれるため、本人以外にも理解を広げる必要がある。今後も地域総合支援センターと保健所の連

統合型校務支援システム 学びと育ちのため 児童生徒の情報を一元化

問 教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育に関する全ての情報共有と児童生徒の育ちを支援するため、統合型校務支援システムを導入しないか。

答 本市が目指すシステムで機械警備が行われているため、監視カメラは設置していないが、安全対策や費用対効果、他都市の状況などを総合的に勘案しながら、引き続き設置について検討していきたい。

携を中心として疾病予防や介護予防を必要とする高齢者に対し、効果的な取り組みを進めていきたい。

問 発達障害児が安心して受診できる環境の整備が必要であるが、市の見解を問う。

答 本市は平成28年4月に障害者配慮条例を施行しており、医療をはじめ、あらゆる場面で合理的配慮の提供等をさらに推進していく必要がある。発達障害児の診察を円滑に進めるためには、医療機関の理解と配慮の浸透が重要と考えている。国は、発達障害のある人と医療スタッフとのよりよい



病院でスムーズに受診

合理的配慮の提供 誰もが安心して 受診できる体制

関係の構築のために医療機関向けのハンドブック等を作成しており、他都市では患者の特徴や配慮してほしいことを伝える受診カードを活用している。本市としてもこうした取り組みを参考に実効性ある取り組みをさらに検討したい。新年度には(仮称)ユニバーサル歯科診療所を開設し、誰もが安心して受診できる体制を整える。今後発達障害児が医療機関を不安なく受診できるように環境整備に取り組んでいく。

小中学校の安全対策 検証の結果 現行の警備体制を維持

問 現在、小学校では警備員が1名常駐し、それ以外は監視カメラで対応しているが、以前のように2名体制に戻せないか。また、中学校への監視カメラ設置の考えを聞く。

答 本市は平成18年度から全小学校に警備員を



安心・安全な学校生活を

問 教育相談や生徒指導の体制を強化するため、いじめ対策の軸となる生徒指導相談員とスクールソーシャルワーカーについて聞く。

答 生徒指導相談員は、本市が独自に配置する専門職で、朝のあいさつ運動をはじめ、校内

教育相談や生徒指導の対応

全中学校に専門職を配置

巡視、学級に入りづらい生徒への関わりなど活動は多岐にわたる。これらにより、生徒の現状が把握でき、問題行動等の未然防止や発生の早期対応に寄与している。

配置校と人数は、その時々

請願

▽採択された請願△
○気候非常事態宣言に関する決議を求める請願

SNSの利用は注意が必要 被害に巻き込まれないよう 情報モラルの向上を

問 会員制交流サイト(SNS)等に起因する本市の児童生徒の被害状況やその対策を問う。

答 インターネット上の不適切な書き込みや投稿によって、本市の小中学校でもさまざまなトラブルが発生している。昨年4月から10月までのいじめを含むSNSが原因となる問題に努めていく。

行動は44件であった。対策としては、情報モラル教育や専門家による講演会を行うほか、小学校高学年と中学生を対象にアンケートを実施し、携帯電話やスマートフォン利用状況の把握とルール作りを活用している。また、家庭や地域の認識も重要であるため、PTA講演会や地域団体の研修会、中学校の入学説明会でフィリタリングなどの重要性を啓発している。

「明石市議会100周年記念誌」を 発行しました



市制施行100周年を迎え、これまでに明石市議会が果たしてきた役割や活動などを広く発信し、関心を深めてもらうため、先人達が築いてきた市議会のあゆみを記念誌としてまとめました。各市民センター、サービスコーナーでご覧いただけます。市議会ホームページでも公開しています。

